

# アルビレックス新潟×新潟アルビレックスBC キックベースボール大会 競技方法（ルール）

## 全体

- (1) 1チームは8名～10名とする。
- (2) コートは、三角ベース（1塁、3塁、ホームベースのみ）で行う。
- (3) コートサイズは、ホームベースから1塁、3塁を18m、ホームランラインはホームベースから25mとする。
- (4) 1試合は20分間+5分とする。（20分間経っても試合が途中の場合、そのイニングが終了するまで行う。）  
また、試合間は移動時間と休憩時間を含めて5分とする。
- (5) 打者一巡したら、攻守交替。より多くの得点を取ったチームが勝利とする。
- (6) リーグ戦は勝ち点方式で行う。（勝ち=3点/負け=0点/引き分け=1点）
- (7) 1イニングごとに出場メンバー（8名～10名）がボールを蹴り、守備側がホームベースまでボールを投げ返す間の進塁数によって加点する。（1塁まで=1点/3塁まで=2点/ランニングホームラン=3点）
- (8) キッカーの蹴ったボールが柵（ホームランライン）を越えた場合は、ホームラン（=4点）とする。
- (9) 全チームの中から、ホームラン王・打点王を決める。

## ピッチャー（投手）のプレイ

- (1) ピッチャーはホームベースをめがけてボールを転がす。
- (2) バウンドの高いボールは全てボールとなる（ただし、キッカーが蹴った場合はこの限りでない）。

## キッカー（打者）のプレイ

- (1) キッカーは、ピッチャーの転がしたボールをキックし、1塁へ走る。
- (2) 2ストライク後のファールはアウト（=0点）。
- (3) デッドボール、フォアボールはなし。
- (4) キックしたボールがノーバウンドで柵（ホームランライン）を超えた場合はホームラン（=4点）。
- (5) キックしたボールがゴロで柵（ホームランライン）を超えた場合は3塁打（=2点）とする。ただし、守備の選手に触れて超えた場合はフリーとする。

## 走者のプレイ

- (1) 今回の大会では、走者はなし。

## 守備側のプレイ

- (1) 守備側は、キックされたボールを取り、ホームベースへ投げ返すことでそのキッカーの順番は終了。
- (2) キックされたボールをノーバウンドで捕れば、そのキッカーはアウト（=0点）。
- (3) キッカーが1塁へ到着する前にホームベースへ投げ返せれば、そのキッカーはアウト（=0点）。
- (4) 守備側は、ボールを進塁中のキッカーへぶつけてもアウトにならない。